南海トラフ地震に備えよ

津波恐怖「想像以上だ」
死者32万人想定
危機意識 向上カギ
愛知のNPO「最悪被害に備えて」
防波堤破壊なら 愛知西部一帯浸水も

南海トラフ地震の被害予想報道

石崎たか子議員

質問

今、地区の方々が一番関心のあるのは、8月29日に内閣府の有識者会議で発表された巨大地震、南海トラフ地震である。その被害想定は想像をはるかに超えた衝撃的なデータであった。

浸水マップには市全体がすっぽり入っている。

海抜ゼロメートルの飛島村が避難所6ヶ所を、弥富市でも津波から避難機能を備えた4階建ての集会所1棟を建設との事。永和地区の避難場所は耐震のない集会所や寺院といわれ、該当する住民の怒りの声が上がっている。どのように住民の安心安全が守れるか。

市のかじ取りをする市長選挙が来年4月21日告示、28日投開票と発表があった。八木市長に再出馬の意思は。過去を振り返り、自身の出したマニフェストに対し、どう思っているか。

3期目を目指すなら、そのかじ取り、住民の思いや要望をどのように聞いて行くか。

総務部長

弥富、飛島村のような避難タワーは、市として準備できない。危惧するのは地震。津波で一番怖いのは、堤防が破損し浸水する被害。

市長

7年余の間、合併していろんな難しい状況の中で、みなさんの理解・協力を得、事務事業をまとめてきたつもりだ。マニフェストはおおかた果たせたと思っている。

今、出馬するかしないかについては、与えられた任務を精いっぱいこなすという答えより持っていない。

資源ごみの有効活用を

質問

平成23年度の資源ごみの収益は、一般会計の雑収入に資源ごみ売りさばき代として、1千237万6千659円を計上している。

先月ボランティアの方が幼児用の遊具を2年半かけて公園に設置したように、資源ごみ売りさばき代を公園の整備遊具の買い替えなどに使用は。

市民生活部長

資源ごみの売りさばき代金は、ごみ処理費用に活用しているので、理解してほしい。